

一般質問通告事項一覧

令和4年第2回定例会 No.1

通告順	通告者	質問主題	質問要旨	答弁者
		(質問の区分)		
(1)	古橋 智樹 【一問一答】	1. 3ha購入土地利用の調査検証を追加すべき	①土地利用の複合交流拠点施設整備の当初計画案で様々な意見にも立ち止まらず事業を急ぐ理由は。	市長
			②当該事業費は、国半分を交付税措置を受け、残りの財源は当市により事業を行うが、立地が土浦市行政界沿いの土地条件でもあり、土浦市民のみなさんはじめ市外の方々の利用が十分想定され、現在の複合交流拠点施設整備の計画は、例えば図書館の座席をかすみがうら市民が利用に訪れても空いていなかったなどとなる想定も起こり得る。かすみがうら市民優先利用の事業ではなく、謂わゆる広域的貢献を当然覚悟して行う事業と認識して良いものか市長の見解を伺う。	
			③複合交流施設と防災公園ありきの意見公募では、土地利用の様々なアイデアを活かすことができなかつたのではないか。	
			④土浦阿見都市計画全体における市街地の指定緑地としては、法定の指定緑地の不足は何haで何%であり、かすみがうら市としての法定不足は、法定の是正措置等を受けているのか。	
			⑤立地適正化計画は、承認を受けたとはいえ、随時見直し修正等は可能ではないのか。	
			⑥市街化区域の緑地の都市計画上の指定面積が不足とも、市街地に属する農地を生産緑地指定を募れば、納税優遇条件のほか、会社勤めや内職が苦手な方や生活保護から就業回復される仕事などとNPO法人等による就業機会にして農業後継者不足を補うなどで都市公園の維持管理費よりも負担が少ないのでは。	

一般質問通告事項一覧

令和4年第2回定例会 No.2

通告順	通告者	質問主題	質問要旨	答弁者
		(質問の区分)		
(1)	古橋 智樹 【一問一答】	1. 3ha購入土地利用の調査検証を追加すべき	⑦坪井市長任期1期目当時の財政計画で一般会計規模が100億円を下回るとの見通しから、合併特例債第一号事業の跨線橋を取りやめたが、今や財政計画を上回る消費税譲与等の国助成から一般会計も200億円になるならば、当時のまちづくりを尊重し、市街地のみならず、市全体利益のためにも土地利用には期間をさらに費やしてと調査検証すべき事業規模ではなかったか。	市長
			⑧購入前だからこそ丁寧に土地利用の調査検証を追加して立ち止まることは、利益として得られるものがあり、大きな損失にはならないのでは。	
			⑨反対運動の動きもあり、もっと賛成を得るためにも、そしてもっと市全体利益につなげる、例えば主要市道沿いにも可能な道の駅や市場など、農業や漁業の個人事業者や土浦市との行政界に迫り出る土地の利を活かした、さらには、坪井市長の6次産業の理念実現のためにも、スマートインターチェンジから神立駅までの動線の中核となるような土地利用にもっと時間を加え調査検証するべきではないか。	
			⑩事業を急がずとも選挙公約が変化しても坪井市長の実績や何ら損なうものではないのでは。	
			⑪坪井市長任期最後に手掛ける公約事業に賛成を一人でも多く増やし事業を見届けるべきが本望ではないか。	
			⑫3ha購入土地利用の調査検証を追加すべきではないか。	

一般質問通告事項一覧

令和4年第2回定例会 No.3

通告順	通告者	質問主題	質問要旨	答弁者
		(質問の区分)		
(2)	櫻井 繁行 【一括方式】	1. 市消防団の車両更新計画について	①平成29年3月12日施行、準中型免許新設に伴い、平成29年3月12日以降の普通免許取得で、運転可能車両が車両総重量3.5 t未滿となりました。現在の消防団員の車両免許取得状況について伺う。	市長及び 担当部長
			②団員の準中型免許取得に伴い、補助金制度の導入の有無について伺う。	
			③本市として、今後の消防団車両の更新について伺う。	
		2. 坪井市政3期通算12年の歩みについて	①3期通算12年、市長として市発展にご尽力頂いたが、どのような目標を掲げ市政運営を行ってきたのか伺う。	市長及び 担当部長
			②市長として、重点的に取り組んできた施策や事業について伺う。	
			③今限りでの引退を4月12日表明されたが、これからのかすみがうら市についてどのような思いがあるか伺う。	

一般質問通告事項一覧

令和4年第2回定例会 No.4

通告順	通告者	質問主題	質問要旨	答弁者
		(質問の区分)		
(3)	櫻井 健一 【一問一答】	1. 防災について	①令和3年12月定例会で質問した防災士資格取得補助について伺う。	市長及び 担当部長
			②自主防災組織結成について、市の取り組みについて伺う。	

一 般 質 問 通 告 事 項 一 覧

令和4年第2回定例会 No.5

通告順	通告者	質問主題	質問要旨	答弁者
		(質問の区分)		
(4)	佐藤 文雄 【一問一答】	1. 複合交流拠点施設をより良いものに整備することについて	①廃棄物が埋設されていた事実を知らながら旧筑波ハウス社宅跡地を購入するのかを問う。	市長及び 担当部長
			②日立製作所との交渉記録を不開示としたのかを問う。	
		2. 校則の見直しについて	①いまの校則は、子どもの権利条約に準じているかを問う。	教育長及び 担当部長
			②生徒・保護者・教師が話し合う場についてを問う。	
		3. 新型コロナウイルス感染症対策について	①市内の感染者数とその特徴及び対策についてを問う。	市長及び 担当部長
			②新型コロナウイルス感染症の後遺症についてを問う。	
		4. ごみ袋有料化について	①可燃ごみ袋が有料化になったため指定ごみ袋を購入しなければならなくなったが、その袋の購入先で品不足の事態が出ている。その対策を問う。	市長及び 担当部長

一般質問通告事項一覧

令和4年第2回定例会 No.6

通告順	通告者	質問主題	質問要旨	答弁者
		(質問の区分)		
(5)	設楽 健夫 【一問一答】	1. 政治倫理とコンプライアンスについて	①政治倫理条例案の目的・政治倫理基準について伺う。	市長及び 担当部長
			②坪井市長引退記者会見における「デマンドタクシーによる公共交通支援」とは何か、伺う。	
			③令和3年5月31日（株）日立インダストリアルプロダクツとかすみがうら市合意書の（3）本物件の引渡し等についての項の市のコンプライアンス対応について伺う。	
			④筑波ハウス跡地不動産鑑定のコンプライアンスについて伺う。	
			⑤図書館交流施設をめぐる公平公正のコンプライアンス違反―「自動車交通手段の施設」「調整池の公園整備転換」「過疎化対策迫る逼迫財政」について伺う。	
			⑥政治倫理上、複数の市長候補、11億円土地購入差止裁判の市政混乱要因回避について伺う。	

一般質問通告事項一覧

令和4年第2回定例会 No.7

通告順	通告者	質問主題	質問要旨	答弁者
		(質問の区分)		
(5)	設楽 健夫 【一問一答】	2. 霞ヶ浦帆引き船の選択文化財総合調査と発祥の地としての、当市の先導的役割と体制について	①霞ヶ浦帆引き船の選択文化財総合調査の本年度計画と三市保存会の各市文化財指定、県文化財申請について伺う。	市長、教育長及び担当部長
			②当市のサントリー財団地域文化賞受賞企画、霞ヶ浦帆引き船フォトコンテスト20周年記念事業企画（市実行委員会による10周年シンポジウム企画等）について伺う。	
			③平成25年補助金交付要綱第81条の2「帆引き船保存活動補助金」及び平成26年より実施された帆引き船の保存・伝承に関する専任体制の継承の明文化について伺う。	
		3. 通学路の安全について	①本年度計画されている各中学校区における通学路の安全対策工事、信号機の設置について伺う。	市長、教育長及び担当部長

一般質問通告事項一覧

令和4年第2回定例会 No.8

通告順	通告者	質問主題	質問要旨	答弁者
		(質問の区分)		
(6)	矢口 龍人 【一問一答】	1. 未来につなぐ脱炭素のまちづくりについて	①かすみがうら市は、脱炭素社会の実現にむけて温室効果ガス排出量削減のため、どのような取り組みを行っていくのか伺う。	市長及び 担当部長
			②脱炭素の普及に向けて、どのような取り組みを推進していくのか伺う。	
			③循環型社会の構築に向けた、環境教育について伺う。	
			④未来の世代に引き継ぐ環境をどのようにするのか伺う。	

一 般 質 問 通 告 事 項 一 覧

令和4年第2回定例会 No.9

通告順	通告者	質問主題	質問要旨	答弁者
		(質問の区分)		
(7)	川村 成二 【一問一答】	1. 新たに策定された第4期「かすみがうら市教育振興基本計画」の重点施策と計画に基づく教職員の働き方改革への取り組みについて	<p>①かすみがうら市の教育振興のため基本的な施策を定める「かすみがうら市教育振興基本計画」の改訂時期を迎えたことから、2022年度から2026年度までを新たな計画期間とした第4期の教育振興基本計画が策定され、3月に公表された。</p> <p>社会全体を取り巻く環境が大きく変化していることに加え本市の学校統廃合も終え小・中学校の適正規模化が図られた時期に新たに基本計画が策定されたことはタイムリーである。</p> <p>策定した基本計画の中で、大きな変化に対応すべく計画した重点施策と対応策について伺う。</p>	市長及び 担当部長
			<p>②策定された教育振興基本計画には、新たに「学校における働き方改革の推進」という文言が書き加えられており、教職員の多忙化の解消に向けて、より積極的に取り組むものと期待している。</p> <p>今般の基本計画策定にあたり、教職員の仕事の実態把握と現状分析から分かった課題に対し、5年間の取り組みで行う働き方改革の目標設定について、どのように考えているのか伺う。</p>	

一般質問通告事項一覧

令和4年第2回定例会 No.10

通告順	通告者	質問主題	質問要旨	答弁者
		(質問の区分)		
(7)	川村 成二 【一問一答】	2. 雪入山・浅間山のハイキングコース周辺の環境整備や付加価値の創造について	<p>①雪入山・浅間山のハイキングコースについて、昨年3月の定例会において適正な維持管理には林野庁から指摘された国有林を通るコースの借用手続きを早急に進めるように市の対応を求めたところ、関係機関との連携を深める中で、新たな課題や多種多様な提案等が提起されたことから、少し時間をかけて丁寧に対応させていただきたいとの答弁があった。 その後の進捗状況について伺う。</p>	市長及び 担当部長
			<p>②三ツ石森林公園及び周辺において発生が確認された樹木のナラ枯れについて、これまでの対応状況と今後の対応策について伺う。</p>	
			<p>③雪入山・浅間山は、筑波山地域ジオパークのジオサイトに指定されており、環境保護の一方策として、この地域に群生する貴重なラン科の植物であるキンランは、茨城県が準絶滅危惧に指定していることもあり、保護を求めてきた。 キンランの保護及びハイキングコース周辺の整備は、利用者の安全確保だけでなく観光誘客にもつながる付加価値の創造に寄与するものであり、丁寧な維持管理が必要と考える。 ハイキングコース周辺の環境整備や付加価値の創造について、どのような対応策を考えているのか伺う。</p>	

一般質問通告事項一覧

令和4年第2回定例会 No.11

通告順	通告者	質問主題	質問要旨	答弁者
		(質問の区分)		
(8)	小倉 博 【一括方式】	1. 本市の文化活動について	本市における文化活動の指標と現状や課題について伺います。	教育長及び 担当部長
		2. 通学路の安全について	①道路の劣化がひどく、陥没や段差があり、通学自転車等には、非常に危険を感じる所が多く見受けられますが、その対応について伺います。	市長、教育長 及び担当部長
			②横断歩道、車線等、道路上の白線が消えかかる等して、見えにくい所が多く見受けられますが、歩行者、運転者にとっても、危険を感じる所があります。その対応について伺います。	
		3. 市民の体力づくりについて	①目標と現状について伺います。	市長、教育長 及び担当部長
			②第2常陸野公園の有効利用の構想について伺います。	

一 般 質 問 通 告 事 項 一 覧

令和4年第2回定例会 No.12

通告順	通告者	質問主題	質問要旨	答弁者
		(質問の区分)		
(9)	来栖 丈治 【一括方式】	1. 本市の市民満足度向上に向けた対策について	①平成30年度の数値ですが、240件の要望が区長からあり、うち農業用や生活道路関係が170件、7割を占めている。市民の満足度向上の観点から、区長要望等の状況、実施状況及び最近の傾向について伺う。	市長及び 担当部長
			②市では人口減少対策や地域の活性化に向け、移住定住の推進政策を予算化し進めています。その進捗状況と課題をどのように捉えているか伺う。	
			③「行政区(集落、自治会)を抜けてゴミ出しだけ継続したい。」という質問、相談を受けるケースが最近増えています。市として、どのように捉えて住民対応や区長への助言を行っているのか。また、住民自治の向上と移住定住の推進の観点から具体的な対応について伺う。	
			④人口減少対策として結婚支援事業に取り組んでいますが、婚活サポートセンター及び結婚新生活支援事業の進捗状況、市民協働体制を整備の観点から今後の展開について伺う。	

一般質問通告事項一覧

令和4年第2回定例会 No.13

通告順	通告者	質問主題	質問要旨	答弁者
		(質問の区分)		
(9)	来栖 丈治 【一括方式】	2. 霞ヶ浦地区の過疎地域指定を受けて、策定が求められる市過疎地域持続的発展計画について	<p>①地域の諸課題や現状を分析し、移住・定住や産業振興、交通手段の確保を踏まえ、過疎対策の基本的方針として過疎地域持続的発展計画の策定を行い、県との協議を得て9月議会に提出したいと伺っています。地域団体や住民の意見聴取の場をと要望したところですが、地域の実情に詳しい職員数名でプロジェクトチームをつくり策定に取り組む提案について伺う。</p> <p>②千代田地区全体としては過疎とは無縁と考えます。しかし、市街化区域を除いた旧地区として人口の推移などは押さえているのか。また、そういう視点と対策を持って持続的発展計画づくりに取り組む必要性があります。具体的な考えは持っているのか伺う。</p>	市長及び 担当部長
		3. 市の活性化や移住定住政策を促進するため、地域おこし協力隊の導入について	<p>2度目の質問です。地域おこし協力隊は、隊員の活躍などの情報からU, I, Jターンにつながったという評価が高まっています。地域おこし協力隊の目的は「移住から定住へ」地方での人口減少を背景に2009年に総務省が創設した制度です。新潟県内の30の自治体のうち24の自治体が導入していて、令和4年度から新潟県版の地域おこし協力隊を始める、花角(はずみ)新潟県知事によると、募集するのは鳥獣被害対策、サイクルツーリズムの推進、錦鯉の海外販路拡大の3つのテーマでそれぞれ1人ずつ募集し、より広域的な社会的課題に対応する隊員により市町村との相乗効果を狙うと言っています。</p> <p>本市として、地域おこし協力隊を活用し本市の移住定住政策や行政区の活性化につながるとの思いから令和5年度予算化を含め再度市長の見解を伺う。</p>	